

# 支庁の風

東京都ホームページ：<http://www.metro.tokyo.jp>  
八丈支庁ホームページ：<http://www.soumu.metro.tokyo.jp/09hatijou/index.html>

平成 21 年 1 月 1 日 < 隔月 >

支庁広報 第 47 号

発行所

東京都八丈支庁総務課

〒100-1492

八丈島八丈町大賀郷 2466-2

Tel:04996-2-1111 Fax:04996-2-3601

Mail:S0000048@section.metro.tokyo.jp

## ◎ 新年挨拶

「大きな節目の年を迎えて」  
八丈支庁長 三井 幾雄

新年明けましておめでとうござい  
ます。

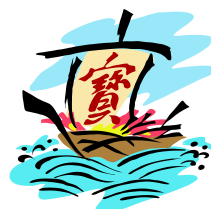
八丈島と青ヶ島の  
皆様には、抱負を胸  
に新しい年を迎えら  
れたことと存じます。

昨年、大きな台

風被害はなかったものの、台風並み  
の低気圧や夏の日照りに見舞われた  
ほか、燃油の高騰により漁業・農業  
等は大きな痛手を被りました。観光  
客数についても、一昨年を下回るな  
ど、全体的には低迷な年でした。

その中で、一昨年に開催された「ハ  
イビスカス・フェスティバル in 八丈」  
に参加したフラのグループが、二度  
三度と合宿で来島されたり、「ファイル  
ムコミッション」効果として八丈島  
をロケ地としたドラマ撮影や映画製  
作が行われるなど、地味ではありま  
すが、着々と新たなブランドが定着  
しつつあります。関係者の皆さまの  
ご労苦に対し感謝致します。

また、青ヶ島においては、念願の  
焼酎工場が完成し、「あおちゆう」の



全国ブランド化に向  
けて大きく飛躍する  
年になりました。

食の安全性の問題

が声高に叫ばれてい  
る今日、島の特産物  
を改めてそれぞれの

マーケットに拡大する絶好の機会でも  
あり、期待しています。

昨年、都が実施した公共工事とし  
ては、都道整備や林道改良、港湾漁  
港・空港整備などを計画どおり行い  
ました。本年も引き続き各地の整  
備を実施するほか、永年の懸案にな  
っていた『町道八重根護神線の都道  
化事業』にとりかかります。皆さま  
の一層のご理解・ご協力をお願いい  
たします。

さて、昨年の八丈島での大きな話  
題として、最終処分場の問題があり  
ました。ごみの減量化、リサイクル  
の推進は大変重要であり、早急に取  
り組むべき課題です。しかし離島で  
のリサイクルにはコストの問題など  
本土と違った難題が数多くあり、最  
終的に処分しなければならぬモノ  
(焼却灰等)は必ず

出ると思っています。  
最新技術を駆使し  
た安全性の高い処分



場をつくり、有害な  
モノは持ち込まない  
ような仕組みづくり  
が必要ではないでし  
ようか。

最後に、現在、都は 2016 年の  
東京でのオリンピック・パラリンピ  
ック開催に向け、様々な招致活動を行  
っています。世界のトップアスリ  
ートによる戦いは、我々に感動や情  
熱、活力を与えてくれるとともに、  
次世代を担う若者達の夢と希望をか  
なえる絶好の機会です。

また、われわれ伊豆諸島・小笠原  
諸島を国の内外にアピールできるチ  
ャンスであり、活性化にも大きく寄  
与するイベントです。本年 10 月の開  
催都市決定に向け、引続き様々な招  
致活動を展開してまいります。どう  
ぞ皆様のご理解とご協力、そして大  
きなお声援をお願いいたします。

本年は、東京都にとりまして、  
伊豆諸島各島にとりまして、将来  
の方向性を見極める大きな節目の年  
になります。

本年も、ど  
うぞよろしく  
お願いいたし  
ます。



日本だから、できる。  
あたらしいオリンピック！



## 青酎新工場が稼働！

青ヶ島の焼酎は、『あおちゅうブランド』として人気が高く、10人の杜氏により設立された青ヶ島酒造合資会社によって生産されています。しかし、工場の老朽化が進み、需要にあった仕込みが出来ない状況になりつつあったため、青ヶ島村は、青酎の安定した供給体制の確立と生産量拡大を目指して、国と東京都の補助事業を活用し、平成19年度に新工場の整備を行いました。

新工場の運営は合資会社が行っていくことが決まり、「かんも」(サツマイモ)の収穫を迎えた昨年11月から、新工場での青酎生産がスタートしました。

青酎発展の一大転機となる新工場稼働と合資会社設立25周年を祝う記念式典が合資会社主催で11月11日に開催されました。

式典には関係者のほか、八丈島や新島の酒造会社、都内で青酎を取り扱っている酒店店



青酎新工場

主、焼酎雑誌のルポライターなど、多方面から22名の方が出席して、初搾りを祝いました。

新工場は、約644㎡、旧工場の約3倍の大きさで、約1億9千万円の事業費をかけて整備されたものです。新工場を初めて見た出席者からは、「すばらしい」と驚嘆の声が上がりました。

青酎の発酵や蒸留の様子などについて見学した後、初垂れ(ハナタレ)と呼ばれる蒸留直後の青酎の試飲が行われ、アルコール度数70度を越える、のどが焼けるような味を堪能しました。



杜氏の説明

式典では、荒井清合資会社社長が、関係者への感謝と今後の決意を述べた後、菊池青ヶ島村長から激励の挨拶があり、中野八丈支庁産業課長が祝辞を述べました。

新工場の稼働により、青酎の生産拡大はもとより、青酎の原材料であり、伝統農作物であるサツマイモの生産拡大を図ることができ、青ヶ島村の産業の発展が期待されます。

産業課農務係 Tel 2-11113

## 防災訓練が実施されました 支庁独自の運動訓練も実施

10月21日に八丈町及び青ヶ島村で大規模な合同総合防災訓練が実施され、八丈支庁も都災害対策本部八丈地方隊として参加しました。

### ◎八丈町

今回は、八丈富士に噴火の兆候が確認され、噴火警報が発表されるという「噴火災害」と、東海・東南海・南海地震により津波が発生したという「津波災害」の2つの想定で訓練が実施されました。

「噴火災害」は、三原小・中学校が会場となり、大賀郷地域からバスでの避難誘導が行われ、多数の住民の方々が参加されました。会場内の展示・体験エリアではライフラインの展示や医療救護コーナーが設けられました。

また実動エリアではライフラインの復旧や救出・救助が実施されるなど、多種多様な内容となりました。



救出・救助訓練の様子  
(三原小・中学校会場)

「津波災害」は、底土港が会場

となり、三根地域から徒歩での避難誘導が行われ、こちらも多数の住民の方々が参加されました。会場内では土砂崩れを想定した土砂除去及び救出救助や、港内での海難救助等の実動訓練が行われ、時折歓声が上がっていました。

また、底土港駐車場には救助資機材や災害用トイレの展示が行われました。

### ◎青ヶ島村

今回は、池之沢旧火口付近において噴火の兆候が確認され、噴火警報が発表されるという「噴火災害」を想定した訓練が実施されました。

本部運営訓練では、青ヶ島村と都災害対策本部・支庁・八丈町とのテレビ会議を通じて、全島避難を決定し、八丈町への受入れ準備を要請しました。

その後、村内放送で旅行者等を含む島民に避難を呼びかけ、村役場前への避難誘導の後、消火活動訓練やAED講習会が実施されました。今回は、合同総合防災訓練ということで、実際に11名の島



救出・救助訓練の様子  
(底土港会場)

こんにちはは八高です！

◎ 新年挨拶

都立八丈高等学校長 郡司正典

新年、明けましておめでとうございませう。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は、学校経営方針の柱として、前年の「地域との連携の推進」に加え、「学校間連携の推進」として、小学校、中学校のご理解とご協力をいただきながら、水泳指導や補充授業のお手伝い等をさせていただきました。本年はさらに連携を深め、共に地域の子どもの育成に努めていく所存です。引き続きのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

また、本年は、「八丈高校創立60周年」の記念すべき年にあたりまます。11月にはささやかではございますが、記念の行事を催すべく、現在、取り組んでおります。後ほどご案内をさせていただきますが、その節は、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のますますのご多幸とご発展を心より

お祈り申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

青ヶ島で調理講習会を実施

教育庁八丈出張所では、11月6日、青ヶ島小中学校において、栄養士と調理員を対象に、調理講習会を実施しました。

この講習会は、給食調理従事者の調理技術向上と献立の充実のため、例年実施しているものです。

今回は、健康に生活できる骨づくりをテーマに、「ばらの花寿司」「おから入り2色コロッケ」「豆腐入りミートローフ」「里芋とツナのサラダ」「白ごまプリン」「フルーツクラフティ」のカルシウムたっぷりメニュー6品を講習しました。

青ヶ島の学校給食では、パンやデザートなども手作りしています。

今回の講習会では特に八丈高校定時制の栄養士より紹介された「白ごまプリン」が好評で早速、献立にも取り入れていただけるということで充実した講習会とな



実習風景



実習メニュー

民がへりにて八丈島へ避難するという例年に行われていない訓練も行われました。



青ヶ島から避難するへり

八丈支庁では、避難誘導・備蓄食糧輸送・炊出支援・道路復旧・港湾警備・医療健康相談等の訓練

特別障害者手当等の認定

東京都では、著しく重度の障害者の方々を対象とした「特別障害者手当制度」を設けています。総務課福祉係で手当の認定・支給を行っているしますので、お気軽にご相談下さい。

◆特別障害者手当

○支給対象…20歳以上で、精神又は身体に著しく重度の障害があるため、日常生活において「常時特別の介護を必要とする状態」にある

りました。

今回講習したメニューのレシピは、八丈支庁HPに掲載されています。ぜひご家庭でも活用してください。

教育庁八丈出張所管理係

Tel 2-0742

を町村などの関係機関と連携して実施し、青ヶ島にも隊員を派遣するなど大規模で実践的な訓練となりました。今後、反省点を検証した上で、さまざまな災害時に対応できるように役立てていきます。訓練実施へのご理解とご協力ありがとうございました。

総務課庶務係 Tel 2-1111

る人

○手当額…26440円(月額)  
○支給制限…施設に入所しているとき、病院等に継続して3か月を超えて入院しているとき、受給者本人などの所得が限度額以上のときは支給されません。

◆障害児福祉手当

○支給対象…20歳未満で、精神又は身体に重度の障害があるため、日常生活において特別障害者手当の支給対象者と同様の状態にある人

○手当額…14380円(月額)

○支給制限…施設に入所しているとき、障害を支給事由とする公的年金を受けているとき、受給者本人や扶養義務者の所得が限度額以上のときは支給されません。

総務課福祉係 Tel 2-1112

## 河口交差点 工事のお知らせ（交差点の形が変わります）

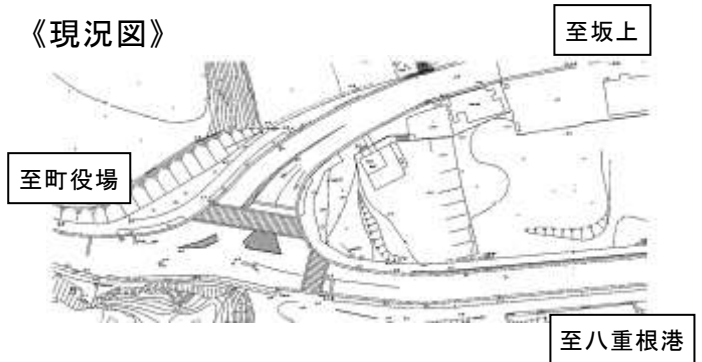
現在、河口交差点付近で道路改修工事（八馬路の4）を施工しています。

この工事は、町役場方面～坂上方面の通行を円滑にするるとともに、歩道を設置するもので、平成21年3月完了を予定しています。

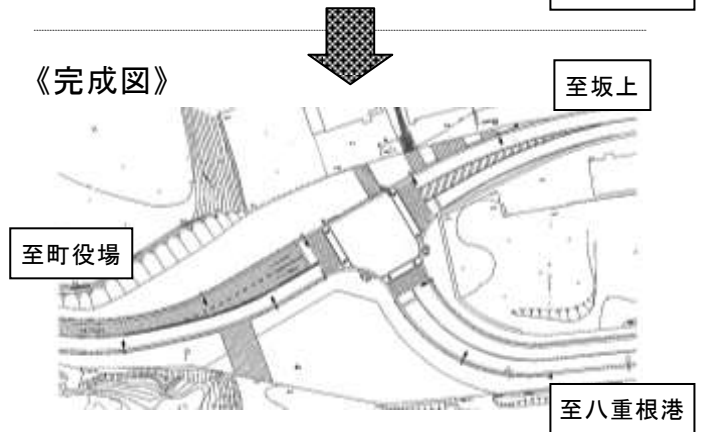
工事期間中は、交差点の切り替えや車線の規制などにより、ご通行の皆様にご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

担当：土木課 工事第一係  
Tel 2-1114

《現況図》



《完成図》



平成19年11月、島しょ農林水産総合センター八丈事業所の漁業調査指導船「たくなん」（清水寿生船長他7人乗船）が、漂流ダイバー4人を無事救出しました。このことが顕著な善行であったとして、昨年12月、都知事から、職員表彰を受けました。受賞は、関係者の皆様のご協力によるものです。今後も地域に貢献してまいります。



石原知事から表彰状

「たくなん」による人命救助が  
知事表彰されました！

青ヶ島産の切り葉・切り花類や観葉植物等が多数出品されます。



昨年金賞のレーザーファン（八丈産）

今月30日（金）から2月1日（日）まで、第58回関東東海花の展覧会を開催します。今年度は、石原都知事が会長を務めることから、東京産の花をPRする特別展示を設けます。また、花の品評会には、八丈島や

花の展覧会開催のお知らせ  
〜八丈島・青ヶ島の花をPR〜

### 1月～2月 八丈ビジターセンター行事予定

日時	内容	対象	参加費
1月1日（木）～3日（土）	体験八丈太鼓	だれでも	無料
1月11日（日）	植物公園季節調査会	中学生以上	無料
1月24日（土）	八文学講座「巣箱を架けよう」	同上	無料
2月8日（日）	植物公園季節調査会	同上	無料
2月28日（土）	八文学講座「春探しホテル水路ウオーク」	同上	無料

※毎週土、日、祝日：植物公園ガイドウオーク  
詳細は八丈ビジターセンターまで  
Tel 2-4811 ・ホームページ <http://www.hachijo-vc.com>

ぜひ、お立ち寄り下さい（入場無料）。  
1 公開時間  
1月30日（金） 12時～18時  
1月31日（土） 10時～18時  
2月1日（日） 10時～12時30分  
2 開催場所  
池袋サンシャインシティ  
文化会館2階展示ホールD  
産業課農務係 Tel 2-1113